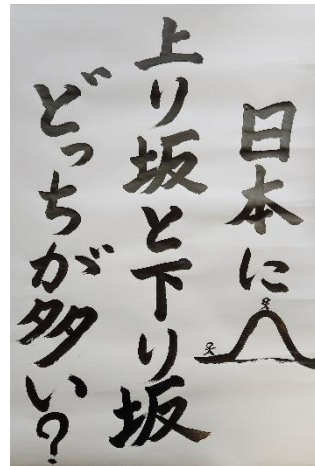


慶念寺々報

# つなばかり

## 慶念寺の掲示板 第五十二回



「日本に上り坂と下り坂どっちが多い?」

すぐ答えがわかる方もいれば、少々悩まれる方もいらっしゃるかもしれません。ちなみに、我が家の子どもたちは結構悩んでいました。答えは「同じ」。要は「どちらから見るとかによる」という事です。上り坂も上り切った下り坂に見える。逆もまたしかりです。立場が代われば物の見え方が代わる。こういった経験がない方はきつとほんのどいなのではないかと思えます。

子ども向けのテレビ番組を見てみると「これの何が面白いんだろうか」と思う事が多々あります。逆に自分の見たいテレビ番組を見ていると子どもたちから「これつまんない!」「楽しいのに変えて!」と言われることも同様にあります。そう考えると、



自分も子どものころに同じように両親や兄弟に言っていたことを思い出しました。

その他にも立場や趣味趣向の変化によってもものの見方は変わっていきます。

時は絶えず流れていきます。全く変わらなものは、私たちの住むこの世の中には存在しません。だからこそ、私たちのものの見え方や考え方、価値基準はコロコロ変わっていくのです。これ仏教では私たちの持つ煩惱である「愚痴」の一つの表れと言うのです。

とはいえ「自覚して直せ」という事ではありません。むしろ「直せと言われても」というのが、正直なところではないでしょうか。大切なのは、「愚痴をもっている自分

がいる」ことを自覚し「愚痴から離れられない自分がいる」ことを受け入れることなのです。誰もがそうなのです。自分が特別に悪いわけではありません。

愚痴からは離れられない私たちだからこそ互いを思いやり尊重することが出来るのではないのでしょうか。そして、そのような私を目標として届いてくださる阿弥陀如来のはた



### 帰敬式のおすすめ (法名)

帰敬式というのは、浄土真宗の教えをよりどころに生きる自覚を新たにし、生前に法名をいただく大切な儀式です。本来浄土真宗では生きている「今」に帰敬式を受式し法名をいただくのが本来のあり方です。ご希望の方は慶念寺にお尋ねください。

らきがあります。

「煩惱を捨てなさい、愚痴から離れなさい」では私たちはどうしても救われません。阿弥陀如来は「煩惱を持つあなたをそのまま抱きとるから。まかせておくれ」と届いてくださっています。だからこそ、私たちは煩惱を阿弥陀如来にお任せし、愚痴の中で互いに尊重できる生き方を模索していくことが出来るのではないのでしょうか。

おてらおやつクラブへの  
ご協力ありがとうございました!



慶念寺では、夏冬の長期休みの前に行っているおてらおやつクラブ活動。今年も沢山の方に賛同を賜ることが出来ました。



夏はお盆の法要があるため、お供物が多く集まるのですが、冬は定例法話会なので、例年お供物が少ない状況にありました。しかし、今年は

たくさんのお供えをいただくことができ、本当に嬉しく思っております。おかげで、十三の家庭に支援をすることができました。

物価が高騰し、私たち自身の生活にも大きな影が落ちています。そんな中でも「これはおてらおやつクラブに」とおそなえを頂けること、誇りに思います。

皆さまのご厚意が、どこかの家族の暖かなお正月につながっていることを思いながら、発送作業を行いました。ご賛同いただき有難うございました。



## ※注意喚起※

**ネットの僧侶紹介業は  
葬儀社の紹介を  
入り口に皆さんを狙っています**

事例①、安葬費プラン40万円  
とうたっておきながら、実際には必要なものもオプションだったりして3〜5倍の金額になることがあります。

事例②、大葬だけのプランでも  
葬儀に臨みながら、実際には追加費用がかかることもあり、大きな想定外の費用がかかった。

●葬儀はその地域地域によってやりかたが違いますが、全国一律の料金で統一するのはとても難しいです。紹介業者はその地域の業者を厳選して紹介しているだけで大きな中核が問題と云えます。

●葬儀は一人につき一生に一度です。よく分からない人に対して無理のいいことを言いながらお葬式を準備しています。葬儀の準備は縁の深いお寺か地域の葬儀屋さんにご相談してください。常識的で良心的なやりかたを取ってくださいます。

※皆さんの御意見を大切にする大切な注意喚起です。

希望の方はお尋ねください。

昨今、葬儀に関する悪質な値段のつり上げを目にするようになってきました。特にインターネットやテレビでコマースシャルをやっているとところに多いようです。

安価な定額料金をうたっておいて「最低限なので」「故人様のために」と、遺族の心情に取り入る形でオプションをつける手法が取られるようです。葬儀料金にクーリングオフはききません。出来る限り地元の葬儀社や、事前に相談でき信用できるところをお探しください。有名だから優良というわけではありません。ご心配な方はご相談ください。

## 仏事について何かあったらまずお寺へ

ご法事に際しても、お葬儀に際しても、事前に日程を決めてからご連絡を頂くと、対応し兼ねる場合がございます。日程調整の上、予定を決めていきましょう。その際に疑問や質問がございましたら、遠慮なくお尋ねください。会場や葬儀社探しのお手伝いも致します。また日程や会場・葬儀社がご決まりでも、お寺への連絡は直接お問い合わせいたします。

画像は、とある都内の葬儀社が作成したものです。

が、許可をいただけて慶念寺でも掲出してあります。この寺報だと字が読みにくいので、ご

## 發送作業のお手伝いのお願い

寺報の發送作業のお手伝いをしていただけたら方を募集いたします。

日時：令和八年一月十八日(日)

法話会に引き続き

場所：慶念寺本堂

内容：寺報等の封筒詰め作業

みなんでワイワイとおしゃべりしながらやっている發送作業です。寺報を折って封筒に詰めるだけ。時々子どもたち参戦してみんなで楽しく作業をしています。お時間ありましたら是非お越しくださいませ。ご希望の方は、終了後に駅までお送りいたします。

## ご法事について

最近ご法事で皆様が悩まれるのが場所の問題です。慶念寺では、お寺だけでなくご自宅でのご法事や、お気軽にご相談ください。また、お布施に関しての質問等もお電話にてお尋ねいただきましたら、お答えいたしますので、こちらも遠慮なくお尋ねください。

## 次回の法話会は

一月十八日(日) 十四時から 慶念寺本堂にて

「定例法話会」を行います。住職がお話をする予定です！

手ぶらで、ふらっとお参りください。大歓迎です！

## 編集後記

先月の寺報を妻に校正してもらっている時に「最近の編集後記『大変だ』とか『忙しい』って内容ばかりだね」と、注意されてしまいました。反省。報恩講シーズンも一段落して、少し落ち着いて今月は寺報を書いていきます。

先日、嬉しいことがありました。娘が小学校の授業で版画をしたのですが、なんとタイトルが「なむあみだぶつ」で自分が合掌している姿を描いていたのです。たまらなく嬉しくて、お坊さん仲間に自慢していました。

そして、大掃除の時期ですね。段取りを進めておりますが、今年は隣のお寺さんから仏具磨きのとっていきのコツを教えてもらいました。この年末は、娘と一緒にその作業をしたいなあと思いつきながらこれを書いておきます。みなさま、良いお年をお迎えください。

浄土真宗本願寺派  
歓喜山 慶念寺

〒214-0012

川崎市多摩区中野島 4-24-2-5

電話：044-819-5482

FAX：044-819-5538

Email：mail@kyounenji.com

ホームページ URL

https://kyounenji.com/



慶念寺ホームページ QR コード